

予 算 常 任 委 員 会 記 録

1. 委員会を開催した年月日・時刻及び場所

令和7年3月12日（水） 議 場
午後1時30分 開議 午後2時48分 休憩
午後3時 再開 午後3時54分 休憩
午後4時 5分 再開 午後4時54分 閉議

2. 出席した委員の名簿

委員 長	寺 井 哲 也	(○)	
副委員 長	松 永 幸 則	(○)	
委 員	丸 田 一 幹	(○)	
〃	松 田 義 人	(○)	
〃	備 後 克 則	(○)	
〃	岡 本 佐 市	(○)	
〃	川 口 雅 登	(○)	副議長
〃	酒 井 一 人	(○)	
〃	浜 名 等	(○)	
〃	櫻 井 英 一	(○)	
〃	新 田 義 昭	(○)	
〃	山 本 泰 夫	(○)	議 長
〃	浅 野 俊 二	(○)	

3. 傍聴した者 な し

4. 出席した説明員

岸市長、川口副市長、山本総務部長、片山市民福祉部長、和田総務部参事、山岸秘書課長、北山企画財政課担当課長、山本市民窓口課長、崎田まちづくり課長、安達災害復興推進室長、木村地域包括ケア推進室長、蓮本こども課長、森田デジタル推進室長、保志場税務課長、木曾会計管理者、小林選挙・監査委員事務局長、木田総務課参事、赤井こども課参事

※市長はあいさつ後、退室（午後1時32分）する。

5. 出席した事務局職員

事務局長 岡嶋 克己 事務局次長 松田 秀治 係長 澤田 朋子

6. 会議に付した議件

令和7年度一般会計当初予算のうち本日審査分

7. 会議の概要

寺井委員長のあいさつにより会議を開く。以後、進行も行う。
次に、岸市長からあいさつがなされ、その後、退室する。

次に、別紙日程表に基づき、歳入については、和田総務部参事、保志場税務課長が説明し、歳出については、議会事務局、総務課、デジタル推進室、秘書課、企画財政課、まちづくり課、災害復興推進室の順で説明が行われ休憩に入る。再開後、会計課、市民窓口課、税務課、選管・監査事務局、健康福祉課、こども課、地域包括ケア推進室の順で説明が行われた後、再び休憩に入る。再開後、質疑・応答が行われる。

最後に、2日目（3月13日）の開催時間を確認し、会議を閉じる。

8. 主な質疑・応答等

【付託案件に対する主な質疑・応答】

新田委員：歳入で11億9,925万円の繰り入れは、財政調整基金を一部使用するのか。

和田総務部参事：調整基金を1億7,000万円繰り入れ、中長期の災害派遣の人件費や経済対策としてのプレミアム付き商品券の発行に充てる予定である。これにより残高は、およそ8億3,700万円になる見込みである。

櫻井委員：羽咋会交流事業、関東、関西、中京とあるが、中京は今総会も開催されておらず、運営が厳しいと聞く。てこ入れが必要でないか。

山岸秘書課長：羽咋市としては被災地であるので、こちらの方からてこ入れというのはなかなか難しい段階でないか。やはり自立していただいて、羽咋市を応援していただきたいというのが本来の趣旨である。

松永委員：市の企画研修は、職員の方からこんな研修をしたいと言えるのか。

山本総務部長：アンケートを取っている。一方で、派遣研修ではプロジェクトチームでこんなところに行きたいというものには積極的に行ってもらうように研修費を盛り込んでいる。

酒井委員：羽咋病院事業負担金が6年度より6,000万円多くなった理由は何か。

和田総務部参事：病院の立地費ということで、羽咋市が交付税を受け取り、その分を病院に分担金として支払っている。多くなったのは、建設事業の分担金に過疎債を充てているが、70%の交付税措置があり、その分が増えた。

備後委員：歳入で市民税の税収が減収見込みということだが、なぜか。また、税収を上げる対策は。

保志場税務課長：6年度は法人市民税で従業員が減ったことにより減収となっており、7年度も減収とした。法人市民税としては、これが目いっぱい積算。

備後委員：庁舎維持管理での1,000万円は災害対策本部機能を高めるためにどのようなことをするものなのか。

山本総務部長：防災機能も含めて本来市の庁舎としてどんな形のものがいいかを調査研究することも含め、そのあり方をまとめていきたい。その委託である。

丸田委員：ハラスメントのアンケートの中に市議会議員も出ていたが、議員向けの研修を考えているか。

山本総務部長：考えているのは職員向け。一緒に参加したいということであれば考える。

丸田委員：心身障害児福祉で、予算が令和6年度より500万円増額となっているのは、サービスの充実だけが理由か。そうであれば、家族や専門家の意見を取り入れての増額か。

片山市民福祉部長：利用する児童は、50人前後。サービス利用者が増加していることに加え、利用頻度が上がっており、それに伴って給付費があがっている。内容としては、これまで同様、障がい児に対する発達支援や活動の場の提供である。

松田委員：地域公共交通、るんるんバスの委託先が北鉄能登バスから高浜タクシーに移行することによって委託料はどうなった。

北山企画担当課長：以前から低く抑えられていたため、高くなっている。

松永委員：のるまいかーの停留所を年度途中で増やせるか。

北山企画担当課長：エリアに対して運輸局から承認を得ており、停留所を増やすには地域の公共交通協議会に諮って承認を得なければならない。また、動き出して1年たった後に皆さんの声を聞いてもっといいものにしたい。

松田委員：生活保護事業の扶助費1億1,000万円は、何世帯、何人分か。

片山市民福祉部長：世帯割で数字を出すのは難しい。これは、現在の扶助費の実績であり、44世帯、50人である。この数も流動的である。

浜名委員：子宮頸がんワクチンの接種率といつまで期間延長したのか。

赤井こども課参事：令和5年度で333名。令和6年度見込みで、762名。今年度3月末までにとりあえず1回打ってもらえれば、来年度2回目、3回目も無償で受けることができる。1回目のみの接種は、令和5年度28%だったのが今年度52%と上がっている。

松永委員：52%は、他の市町と比べて高いのか。

赤井こども課参事：石川県は1回目で39.8%。羽咋市は、県内で2位である。

寺井委員長：事業の内容になっている。予算の質疑をお願いします。

松永委員：女性のテレワーク事業、いままでと何か違うのか。

崎田まちづくり課長：これまで同様初心者からテレワークに向けて研修を行うほか、エキスパートの方には上のグレードの研修も受けられるようにする。

松永委員：地域おこしの募集費が増額となっているが。

崎田まちづくり課長：先輩の地域おこし協力隊に協力をいただきイベントに参加するとか、集められる事業者へ委託するとか検討したい。

備後委員：地域介護福祉空間整備事業で、どのくらいの事業規模で、補助金の割合、施設の概要と補助事業の内容は。

木村地域包括ケア推進室長：基本的に県の財源ですべて賄う事業、補助率10/10。グループホームや小規模多機能の施設を作ることに對して上限が決まっており、10/10の補助が出るもの。

規模は、グループホームについて2ユニット、18名分を計画している。これは、令和4年度に2カ所、令和5年に1カ所グループホームが閉鎖になっており、介護保険の事業計画策定委員会において2ユニットの募集を承認いただいた。

松永委員：子育て応援だと思いが、ファーストブックは、どういうふうにして渡すのか。郵送なのか、職員が訪問するのか。

蓮本こども課長：こちらに出向かれたときに渡したり、こちらから訪問したときに渡している。

松永委員：こども家庭センターの散髪、入浴制度の利用された件数はどれくらいか。

蓮本こども課長：件数的に1回、散髪と制服のクリーニングを行った。散髪することにより、明るい表情になり学校に通えるようになった。また、クリーニングで周りの目を気にせずに学校生活が送れるようになったということで効果はあった。

こういったことは家庭できちっとやるという意識づけも大事であり、保護者にも話をしながら事業を展開した。

令和7年第2回羽咋市議会定例会議案付託表

予算常任委員会

番 号	議案番号	議 件
1	議案第2号	令和7年度羽咋市一般会計予算
2	議案第3号	令和7年度羽咋市国民健康保険特別会計予算
3	議案第4号	令和7年度羽咋市後期高齢者医療特別会計予算
4	議案第5号	令和7年度羽咋市介護保険特別会計予算
5	議案第6号	令和7年度羽咋市千里浜財産区特別会計予算
6	議案第7号	令和7年度羽咋市水道事業会計予算
7	議案第8号	令和7年度羽咋市下水道事業会計予算
8	議案第9号	令和6年度羽咋市一般会計補正予算（第12号）
9	議案第10号	令和6年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
10	議案第11号	令和6年度羽咋市水道事業会計補正予算（第4号）
11	議案第12号	令和6年度羽咋市下水道事業会計補正予算（第4号）